

高知県梼原町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	118,659,000	32,730,000	151,389,000	71.5%	町内全域を対象とした航空レーザ測量及びその情報解析業務の実施を検討している。
譲与額（円）	159,710,000	52,152,000	211,862,000		

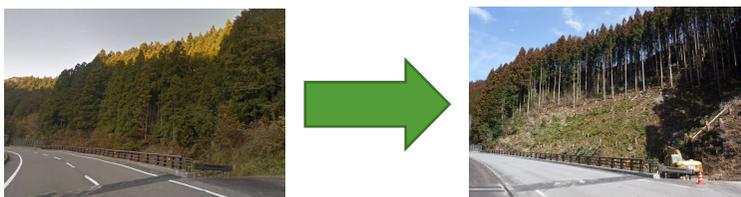
■令和5年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	私有林整備等	33,496,931	18,580,000	私有林整備（人工造林4.68ha、間伐20.08ha等）や附帯施設整備（作業道作設1,326m）に対する支援等を行った。
木材利用	森林・林業・木材 普及活動等	8,534,385	6,500,000	森林技術者の育成や技術の継承を推進する取組（森林体験イベント、木育の推進等）の支援や、町内に木製ベンチの設置等を実施した。
人材育成	林業就業者の育成、 専門員の雇用	10,438,520	7,650,000	森林技術者や小規模林業者の育成のために、専門的知見を有する講師による指導や、小型集材機の購入・貸与等を実施した。
基金積立		19,422,000	19,422,000	梼原町森林環境譲与税積立基金
合計		71,891,836	52,152,000	

■今後の実施計画

①森林所有者との森林整備協定に基づく森林整備の実施

主要幹線道路等のライフラインに隣接する私有林について、随時意向調査を実施し、町と森林所有者との森林整備協定に基づき、防災のための公共事業として未整備森林の主伐、再造林により広葉樹林への転換を図る。



②ICT技術の利用促進

令和元年度に梼原町内全域の航空レーザ測量及びその情報解析を実施し、得られた森林資源情報等を業務に活用しているところだが、近年主伐・再造林が進んでいることもあり、最新の森林現況を把握するため、前回実施から10年程度を目途に、積立基金を活用して2回目の航空レーザ測量及びその情報解析の実施を計画している。